

News Release

2024年5月8日

この資料は2024年3月27日に中国で発表した英語のプレスリリースをBASFジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

CHINAPLAS 2024: BASF、ウスキンド社のバイオマスバランスポリウレタンを使用した低温貯蔵庫用サンドイッチパネルの開発および ISCC PLUS 認証取得をサポート

- BASF のバイオマスバランスソリューションを使用したポリウレタン(PU)製の低温貯蔵庫用サンドイッチパネル
- ウスキンド社はアジア初の ISCC PLUS 認証 PU サンドイッチパネルメーカー

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)と Shandong Wiskind Architectural Steel Co. Ltd.(以下、ウスキンド社、本社:中国 山東)は、コールドチェーン(低温物流)用途の持続可能なポリウレタン(PU)サンドイッチパネルの開発における両社の戦略的パートナーシップを拡大しました。アジア初の ISCC PLUS 認証(国際持続可能性カーボン認証)を取得した PU サンドイッチパネルメーカーである ウスキンド社は、CHINAPLAS 2024 に BASF のバイオマスバランス(BMB)MDIを使用したPUサンドイッチパネルを展示しました。

ウスキンド社のジェネラルマネージャーであるシュウ・シューヘン氏は、次のように述べています。

「BASF の BMB ソリューションにより、アジア太平洋地域で初めて、ISCC PLUS 認証を取得した PU サンドイッチパネルを生産できる企業となったことを誇りに思います。このことで、当社はサステナビリティ目標を達成し、市場競争力を強化できるようになります。BASF の材料、特に PU 断熱ソリューションに関する豊富な専門知識により、私たちは今後も革新的な製品をより持続可能な形で共同開発できることを確信しています。」

MDI は PU の主要成分であり、通常は化石由来原料で製造されます。BASF の BMB ソ

ソリューションによって、製造に必要な化石由来の有機原料の 100%を、生産チェーンにおいて持続可能な形で調達し、認証を取得した再生可能原料に代替することが可能です。そのため、従来の原料をベースとした通常の MDI を使用する場合に比べて、バリューチェーン全体にわたって顧客の製品カーボンフットプリント(PCF)が大幅に低減します。

認証を取得した BASF の再生可能原料を使用することで、化石由来の製品と同じ品質と特性が得られます。また、従来の PU サンドイッチパネルと同等の優れた断熱特性を備えているため、エネルギー消費の節約、食品の保存、食品廃棄の削減に役立ちます。この PU サンドイッチパネルは、庫内の温度安定性において非常に優れ、更に中国で最も厳しい火災安全規制においてパネルのコアフォームは防火等級 B1 を満たしています。

BASF パフォーマンスマテリアルズ事業本部 アジア太平洋地域のバイスプレジデントであるシルビア・モックは、次のように述べています。

「持続可能なソリューションに対する市場の要求が高まる中、ウイスキンド社と BASF は緊密に連携し、バイオマスバランス原料を使用した、低カーボンフットプリント材料による初の低温貯蔵庫用サンドイッチパネルを市場に投入する運びとなりました。これは、ウイスキンド社との長年にわたるパートナーシップにおける新たなマイルストーンであり、BASF の材料ソリューションと能力が、お客様が要求の厳しい用途における課題を克服する際に役立つことを証明しています。」

ウイスキンド社と BASF の提携は 2017 年に始まりました。そして、2019 年には、PU サンドイッチパネルのさらなる用途を探求し、共同マーケティングの潜在的な道筋を探るべく、戦略的パートナーシップを確立しました。

4 月 26 日に閉幕した CHINAPLAS 2024 において、BASF はとりわけ、サステナビリティと共創の分野における最新のイノベーション、コンピテンシー、開発内容を紹介しました。CHINAPLAS 2024 では、BASF のプラスチックジャーニーにおける MAKE-USE-RECYCLE (製造—使用—リサイクル)の各段階に分けて展示し、好評をいただきました。

CHINAPLAS 2024 における BASF の写真と情報は[こちら](#)をご確認ください。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について

BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、プラスチックに求められる持続可能性への変革の最前線にいます。BASF の製品は、トランスポーターション、消費財、インダストリアルアプリケーション、建築・建設という 4 つの主要産業分野にイノベーションをもたらすため、世界中のお客様と共同で開発をすすめています。私たちの研究開発は、プラスチックに関するすべての工程(プラスチックジャーニー)である MAKE(製造)、USE(使用)、RECYCLE(リサイクル)に焦点を当てています。製造段階では、製品の設計から原材料の選択、製造工程に至るまで、プラスチックの製造方法を改善します。使用段階では、軽量性、堅牢性、耐熱性といったプラスチックの強みを強化します。製品のライフサイクルの終段には、循環型経済を実現するためにどのようにプラスチックジャーニーを終了させるかを検討する「リサイクル」段階があります。2023 年、パフォーマンスマテリアルズ部門の世界売上高は 72 億ユーロを達成しました。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追及しています。また、全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション)から成ります。2023 年の BASF の売上高は 689 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は、<https://www.basf.com> をご覧ください。